

# 『ワイヤーエキスパート WX4500/500』 メタルケーブル認証テスト

# 取扱説明書

【Version 7.3.0:01版】

🕂 本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。



本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱 説明書の補助手段としてご使用ください。

#### 注意:

本書は、国際著作権法により形式または方法(電子的保存または他の言語への翻訳を含む)を問わず、Softing からの書 面による事前承諾なしに複製することを禁じます。

#### 保証:

正常な使用状態にも関わらず万一故障などが生じ、損傷がお客様に起因するものではないと判明した場合は出荷日か ら1年以内に限り無償で修理または交換致します。なお製品保証は日本国内のみで有効です。

ただし下記のような場合には、保証期間中でも保障の対象外となります。

- 1) 不適当な取扱いまたは使用による故障
- 2) 取扱説明書に記載された事項に違反した取扱い、保管による故障
- 3) 弊社に無断で改造または修理したことによる故障
- 4) 火災、水害などの天災が原因で発生した故障
- 5) シリアルナンバーを変更した場合
- 6) 弊社非公認の代理店による保証契約の場合

製品が返送された場合、その損傷が保証期間内に正常な使用方法で起こったものかどうかを判断するための費用につ いても請求させて頂く場合があります。

#### <mark>< 注意 ></mark>

この表示は誤った操作、手順、実行などに伴う注意を喚起するものです。適切に操作しない場合には、製品やデータの損失が生じる可能性があります。記載されている条件を理解し、注意事項を厳守して操作をしてください。

#### < 警告 >

この表示は操作、手順、実行などの取り扱いを誤り、適切に操作しない場合には、死亡または重傷を負う可能性があ ります。記載されている条件を理解し、注意事項を厳守して操作をしてください。

#### 取扱いに関する注意

#### < 警告 >

- 機器が破損している場合は使用しないでください。
- 機器を使いまえに筐体にひび割れやプラスチック部品の欠損がないか確認してください。
- 爆発性ガス、水蒸気、ホコリのある場所で機器を操作しないでください。
- 必ず付属のアクセサリ、ケーブル類を使用してください。
- 接続作業を行なう場合は、機器に付いているマークを常に確認してください。
- 入力/出力ターミナルに接続する場合は、機器とアプリケーションシステムの電源を切ってください。
- 部品や付属品を交換する場合は、指定部品をご使用してください。
- 筐体を開けたり、ゆるめたりした状態で操作しないでください。
- AC アダプタは、製造元が供給する製品のみをご使用ください。

#### < 注意 >

- 指示以外の方法で機器を使用した場合は、機器に対する保証が無効になることがあります。
- 機器を清掃する場合は必ず乾いた布を使用し、エチルアルコールなどの揮発性溶剤は使用しないでください。
- 機器の通気口を塞がないでください。

#### 使用環境

この機器は屋内および低結露環境でご使用ください。機器の使用環境の概要を示します。

利用環境	要件
操作温度	0 °Cから 40°C
操作湿度	20% から 85% RH non-condensing
保管温度	20°Cから 60°C
保管湿度	5%から 90% RH non-condensing

#### 備考

ワイヤーエキスパート WX4500/500 は、以下の安全基準要件に準拠しています。 DIN EN 55024、Edition:2003-10 (IEC/CISPR 24:1997、modified + A1:2001 + A2:2002)、 EN 55024:1998 + A1:2001 + A2:2003

DIN EN 55022、 VDE 0878-22:2008-05 (IEC/CISPR 22:2005、modifiziert + A1:2005)、 EN 55022:2006 + A1:2007

#### 安全マーク

CEマークは、European Community に登録された安全マ ークです。この CEマークは、製品が欧州の法規に適合す るものであることを示します。

# **EU Declaration of Conformity**



We

Softing Singapore Pte. Ltd. 3 Science Park Drive #03-09, The Franklin Singapore Science Park 1 Singapore 118223

declare under our sole responsibility that the products

Model / Description

WX4500-FA/WireXpert cable certifier 2500 MHzWX500-CU/WireXpert cable certifier 500 MHzWX\_AD\_VCL\_MM1/MM2/Multi mode fibre adapterWX\_AD\_EF\_MM1/MM2/Multi mode fibre adapter (encircled flux compliant)WX\_AD\_SM1/SM2/Single mode fibre adapterWX\_AD\_MM\_MPO\_KIT///SOURCE/PWRMETER/Multi mode MPO adapters

including associated accessories and cables supplied by Softing Singapore, comply with the requirements of the following directives:

EMC directive 2014/30/EU

Low Voltage Directive 2014/35/EU

RoHS directive 2011/65/EU

REACH Regulation (EC) 1907/2006 including tracking changes to the SVHC list published by ECHA on an ongoing basis. As of 21<sup>st</sup> February 2017, 173 SVHCs are listed.

Applied harmonised standards:

- EN 55024 (2003-10) : Information technology equipment Immunity characteristics Limits and methods of measurement
- EN 55022 (2008-05) : Information technology equipment Radio disturbance characteristics – Limits and methods of measurement

IEC 60950-1:2005 (Second Edition) + Am 1:2009 + Am 2:2013 : Information technology equipment - Safety - Part 1 : General requirements

Simon Harrison General Manager

21st February 2017

Date

Template version 2.1

Document No: 3000-0007

	目次	
第 1 3	章…はじめに	. 1-1
•	構成品	1_1
•	WX4500とWX500の違い	
•	ワイヤーエキスパート WX4500/500 本体各部説明	1-3
•	デュアルコントロールシステム (DCS)について	1-4
•	ワイヤーエキスパートテストアダプタ・・・・・	1-4
	▶ パーマネントリンクアダプタとチャネルアダプタ	- 1-4
	▶ アダプタ設定警告機能	1-5
•	ケーブル認証試験について	-1-5
	▶ メタルケーブル認証試験	- 1-5
	▶ パーマネントリンク試験	- 1-5
-	▶ ナヤイル試験	-1-5
•	メモリについ()	1-5
•	▶ アモリ什奴	1 6
•	▶ バッテリの安全のために	
	▶ バッテリの交換	1-6
•	電源	1-7
•	寸法	1-7
•	環境状況	- 1-7
第 2 章	章 …ヮイヤーエキスパートの構成	. 2-1
•	ユーザーインターフェース・・・・・	2-1
•	タッチスクリーン	2-1
•	ワンタッチアクセスボタン	2-2
	▶ AUTOTEST ボタン·····	2-2
	➢ SETUP ボタン····································	2-3
	▶ DATA ボタン······	2-19
		2-20
第3章	章····リファレンス設定	. 3-1
第4章	草 ⋯ オートテスト構成	. 4-1
•	パーマネントリンク試験	-4-2
•	チャネル試験・・・・・・	-4-3
•	クロスケーブル測定方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-4-4
第5章	章 …オートテストの実行	. 5-1
•	NEXT ロケータと RL ロケータ	5-3
•	テスト結果の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	•-5-4
•	テスト結果のエクスポート (eXport) ······	5-5
	► USB メモリヘエクスポート	5-5
	▶ USB ケーフル経田で直接接続 ······	-5-8
第6章	章…その他	. 6-1
• 付録	各アイコン詳細・・・・・・	6-1
付録 A	ヽ: …ソフトウェアアップデート	
付録 E	3:…自動ラベル機能	
付録(	♡:…リストベイスド試験	
付録 [	):…PC と直接接続方法	

# 第1章 はじめに

構成品



ソフトケース (WX\_AC\_SOFTCASE)



ワイヤーエキスパート WX4500/500 (ローカルユニット/リモートユニット)



校正証明書 USB メモリ



電源アダプタ 入力: 100-240VAC/0.8A 出力: 12VDC/3.0A (電源ケーブル含む)



トークセット (WX\_AC\_TALKSET1)



LCD 画面保護カバー





CAT 6A チャネルアダプタ (WX\_AD\_6A\_CH2)



ストラップ



CAT6A パーマネントリンクテストアダプタ (WX\_AD\_6ALKIT2)

# WX4500とWX500の違い

特長	WX4500	WX500
測定周波数	2500MHz	500MHz
精度仕様	Level 2G	Level III e
ファイバ認証テスト	0	× *1
Class FA / CAT 8 測定	0	×
パッチコードテスト	0	0

\*1: WX500をアップグレード(有償)することにより、測定可能となります。 ファイバ認証テスト=SM/MMのみ(MPO/MMEF は対象外)

# ワイヤーエキスパート WX4500/500 本体各部説明

	Power ON/OFF button	
	Touch sensitive control LCD screen	2
	USB device port	3
	— Audio port	4
	— USB host connector for flash drive	5
	RJ-45 Ethernet port for remote control	6
	Power supply port (12V)	
	One-Touch access buttons	8 8
	Brightness control button	
	Navigation scroll buttons	0
	Context sensitive Help button	1
	Probe interface connector	
	Battery compartment	
Zerrieration Beneficiality		

No.	操作部	機能
1	電源オン/オフボタン	機器の電源オン/オフに使用します。電源をオンにする場合は5秒間、オフにす
		る場合は2秒間押し続けてください。またオン/オフボタンは本体バッテリが充
		電中であることを表示します。詳細はバッテリ充電の項目をご確認ください。
2	タッチパネル式 LCD 画面	WX4500/500 はタッチパネル式画面を採用しています。
3	ミニ USB ポート	PC からのリモートコントロール時に使用します。
4	オーディオジャック	ワイヤーエキスパートキットにはヘッドセットが 2 組含まれています。ローカ
		ルユニットとリモートユニットの通信は、ヘッドセットを端子に挿入して行っ
		て下さい。
5	USB ポート	保存しているテスト結果の抽出やファームウェアのアップグレード時に使用し
		ます。また、カスタム規格やリストベイスドテスティングのロードに使用しま
		す。
6	RJ-45 コネクタ	2 セットのワイヤーエキスパートを使用してエイリアンクロストークの測定時
		に使用します。
$\bigcirc$	電源ポート	機器を充電する時に使用します。WX4500/500 に付属している AC アダプタを
		使用してください。
8	メインメニューボタン	メインメニューにワンタッチでアクセスできます。
9	コントラストボタン	画面輝度を調節します。
10	上下左右スクロールボタン	項目をスクロールアップ/ダウンします。
	ヘルプボタン	ヘルプメニューにアクセスします。
12	テストアダプタスロット	適切なテストアダプタを接続して下さい。
(13)	バッテリ収納ボックス	バッテリ交換の場合は、ネジをゆるめてボックスの蓋を開けてください。

#### デュアルコントロールシステム (DCS)について

WX4500/500 はローカルユニットとリモートユニットの 2 台で構成されています。両機器は同じ形をし ておりますが、機器下部のラベルまたは、本体起動時の背景色(白:ローカルユニット、黒:リモートユニッ ト)を確認することで区別できます。両機器共にタッチパネル式 LCD とメニューボタンが付いています。 WX4500/500 はローカルユニット側だけでなくリモートユニットからでもテストの開始、結果の表示(グ ラフを除く)、結果の保存を行うことができます。



#### ワイヤーエキスパートテストアダプタ

テストアダプタは、機器上部のアダプタスロットに装着してください。WX4500/500 に接続されたテス トアダプタは自動検知されテスト時に適切なアダプタが装着されているかを判断します。SETUP → ク イックセットアップでは、規格を選択することでアダプタのタイプを自動的に認識します。

#### パーマネントリンクアダプタとチャネルアダプタ

WX4500/500 テストキットには、パーマネントリンクアダプタ(以下リンクアダプタとする)とチャネルア ダプタが付属しています。

チャネルアダプタは、壁プレートやパッチパネルにパッチコードと接続します。ワイヤーエキスパート のソフトウェアは、試験結果の精度を確保する為に、アダプタの伝送特性を保証します。

リンクアダプタは、壁プレートやパッチパネルに専用のケーブルを使用して接続します。ワイヤーエキ スパートのソフトウェアは、試験結果の精度を確保する為に、アダプタの伝送特性を保証します。

リンクアダプタは、精度の高い測定ができるように設計されています。リンク測定では、リンクアダプ タの RJ-45 プラグとリンクコードの性能が大きく関わります。よってリンクコードの劣化は測定精度に 大きく影響を与えます。

従来の LAN ケーブルテスターでは、正確な測定を行う為にリンクアダプタを頻繁に交換する必要があり、 運用コスト増加の一因になっていました。WX4500/500 のリンクアダプタは、リンクコード部をアダプ タ部から取り外すことができますのでリンクアダプタまたはリンクコードのみ交換することができ、運 用コストを大幅に減らすことができるようになりました。



パーマネントリンクアダプタ



チャネルアダプタ

#### アダプタ設定警告機能

テスト項目に適合しないテストアダプタを本体に取付けて測定を行うとアラームが表示されます。 適合していないアダプタでテストを行うと測定精度が落ちます。特にカテゴリ 6A、カテゴリ 7 では重要 です。

#### <mark>く 注意 ></mark>

WX4500/500 のテストアダプタやリンクアダプタを電話端子などの電源に接続しないでください。過電 圧が機器本体やテストアダプタを損傷させる可能性があります。この場合は保証の対象にはなりません。

#### ケーブル認証試験について

WX4500/500 ではケーブル認証試験が簡単に行えます。オートテスト機能によりローカルユニットとリ モートユニットに接続されているケーブルが規格に準拠しているかを測定、分析して合否判定を行いま す。

#### メタルケーブル認証試験

ツイストペアケーブルの認証試験では、LAN ケーブルの性能をケーブルの両端からテストします。試験 はローカルユニットとリモートユニットを使用して行ってください。 テストを実施する前に下記の点にご注意下さい。

- 設定がパーマネントリンク試験かチャネル試験か確認してください。
- 選択するテスト規格(カテゴリー または Class)を確認してください。

#### パーマネントリンク試験

パーマネントリンク試験は主にケーブルのインストール時に行います。試験ではユーザーパッチコード を含まないため規格値はより厳しいものになります。この試験ではパーマネントリンクアダプタを使用 して行ってください。

#### チャネル試験

チャネル試験はユーザーパッチコードを含んだ状態で行います。試験はチャネルアダプタを使用して行ってください。

#### メモリについて

内部フラッシュメモリ:1GB USBメモリ(1GB)標準添付

#### メモリ件数

試験結果の保存可能件数は設定によって変わります。グラフを保存すると保存可能件数は少なくなりま す。WX4500/500の本体内部フラッシュメモリは約1GBですが、正確なメモリ容量は、ワイヤーエキス パートWX4500/500ソフトウェアのサイズによって決まります。

保存可能件数については下記表をご参照下さい。市販の USB メモリも使用可能です。

< 参考例 >

オートテスト設定	容量 (記録可能件数)	
	内部フラッシュメモリ(1GB)	USB メモリ(2 GB)
カテゴリ 6、6A、7 (グラフ含む) (1 GHz)	2000 件	4000 件

#### バッテリ情報

WX4500/500 のローカルユニットおよびリモートユニットは電源として充電式リチウムイオンバッテリを使用しています。

このバッテリには WX4500/500 の充電状態をモニターする回路が付属されています。

それぞれの機器は AC アダプタでも作動します。AC アダプタに接続すると同時にバッテリ充電も行います。

ー回のフル充電で約5~8時間作動します。画面輝度を下げ、スリープ機能を利用すると作動時間をさらに延ばすことができます。

#### < 警告 >

充電直後のバッテリには熱が残っています。このような状況の時にワイヤーエキスパートの校正や操作 は行わないでください。本機は適切な温度下で管理してください。温度が上昇した場合は機器を適切な 環境下に移動させてください。不明な点は販売店にお問い合わせください。

#### <mark>< 注意 ></mark>

WX4500/500 キットに標準添付されている AC アダプタを必ず使用してください。それ以外の電源機器を 使用すると機器が損傷する恐れがあります。この場合は保証の対象にはなりません。

- 機器側面にある充電端子にケーブル端を接続してください。
- 適切な AC 電源に接続するようにしてください。

バッテリの安全のために

- バッテリパックの発火、損傷を防ぐためにバッテリの接点に金属物を接触させないようにしてください。
- バッテリパックは、WX4500/500 のみに使用してください。
- バッテリパックは絶対に分解しないでください。バッテリパックを火中や水中に投棄しないでくだ さい。
- 損傷または液漏れしているバッテリは慎重に取り扱ってください。
- 万一電解液が付着した場合は、付着部分を石鹸水で十分に洗ってください。電解液が目に付着した 場合は、流水で15分間洗いすぐに病院で治療してください。
- バッテリパックは高温(約 55℃以上)で保管しないでください。
- バッテリパックを破棄する場合は、リチウムイオン電池の破棄またはリサイクルに関して所轄の清 掃局にお問い合わせください。
- 交換用の電池を購入する場合は販売店にお問い合わせください。
- 環境温度が 40℃以上の場合はバッテリパックの充電を避けてください。

#### *バッテリの交換*

バッテリは、安全上の理由により、WX4500/500本体底に実装されています。 バッテリ交換手順を以下に示します。

- (1) WX4500/500 の電源を OFF にして、AC アダプタの接続も外します。
- (2) ドライバを使用して WX4500/500 本体底のネジを外します。
- (3) バッテリを交換します。
- (4) ネジを締めて、動作確認を行います。



### 電源

- 交換型充電式リチウムイオンバッテリ(連続操作時間8時間)
- 100VAC アダプタ

寸法

- ・ サイズ: 220mm(H) x 110mm(W) x 53mm(D)
- 重量:約1.0 kg



#### 環境状況

- 操作温度:0℃ ~ +40℃
- 保管温度: +20℃ ~ +60℃
- 湿度: 10% ~ 80%

## 第 2 章 ワイヤーエキスパートの構成

### ユーザーインターフェース

#### タッチスクリーン

タッチスクリーンのユーザーインターフェース部分を以下に示します。 ワイヤーエキスパートは SETUP 画面で起動します。SETUP 画面は、5 つのグループに分かれています。



- 1. ステータスパーでは、現在の日時、通話機能、バッテリ残量が表示されます。
  - 通話機能について:トークセットを接続してアイコンをクリックします。



- 2. 設定グループでは、ジャンパー数、測定方向を設定することが可能です。
- テスト条件の設定グループでは、オートテストを実行するために必要な構成を設定することが可能 です。
- プロジェクト設定グループでは、オートテストを実行する前に結果の構成を設定することが可能です。
- 5. **システムの設定内容**グループでは、時刻、言語、初期化などのシステム的な設定が可能です。また、 デバイス情報からソフトウェアの情報、モジュールの情報が確認できます。

#### ワンタッチアクセスボタン

画面下部のワンタッチアクセスボタンでは、オートテスト、機器のセットアップ、データベースの表示/ 編集、その他の設定ガンへの切換がワンタッチで行えます。各ボタンの詳細を以下に示します。



#### AUTOTEST ボタン



AUTOTEST ボタン



サマリー画面

27-08	-2015 A-4 TIA - (	Cat 6 Channel	٥
1	914207*	>	-
4	長さと遅延時間	2.80 •>	
4	抵抗値	0.00 Ohms >	
4	挿入収	29.80 dB >	=
4	ሃቃ-ጋ-በአ	4.90 dB >	
4	NEXT	6.60 dB >	
4	ACR-F	15.90 dB >	
1	PSNEXT	7.60 dB >	
	< ] –		

詳細結果



グラフ

SETUP ボタン



SETUP ボタンでは、オートテストを実行するための機器の構成およびシステム設定を行うことができます。SETUP の画面では、以下の設定項目があります。

#### <u>クイックセットアップ</u>

クイックセットアップは UTP/STP ケーブルに対して、あらかじめ定義されている TIA(CAT 5e/6/6A)、 ISO(Class D/E/EA/FA) 規格を素早く簡単に設定できる機能です。また、実装されているアダプタ(チャネ ル、パーマネントリンク)を自動的に認識して規格に設定します。

▶ UTP ケーブル : Unshielded Twisted Pair シールドなしツイストペアケーブル

▶ STP ケーブル : Shielded Twisted Pair シールドありツイストペアケーブル

016-03-18	100 2015-06-03		95%	2016-03-18	1
<u> </u>	CAT 5e CAT 6			<u> </u>	2
テスト条件の設定 規格: TIA - Cat 6A Channel ケーブル: Generic UTP NVP: 68 コネクタ: Generic Unshielded	CAT 6A Class D Class E Class EA	8		<mark>テスト条件の設定</mark> 規格: TIA - Cat 6A Channel ケーフ*ル: Generic UTP NVP: 68 コネクタ: Generic Unshielded	:
フ <sup>°</sup> ロシ <sup>*</sup> ェ <u>クト設定</u> 現場: Unspecified ラベ⊮coledia: Simple Label	<b>ک</b>	- <b>4</b> 6* - <del>2</del> - <b>4</b> 6*		フ <sup>°</sup> ロシ <sup>*</sup> ェクト設定 現場: Unspecified <sup>うへ*</sup> ル名の候補: Simple Label	

#### <u>テスト条件の設定</u>

テスト条件の設定では、オートテストを実行するために必要な構成などを設定することができます。

#### テスト規格

カテゴリまたはクラスで定められた性能基準を測定するために「標準の規格」から選択します。最近設 定した3つの規格については、「最近使用した規格」に表示されます。 SETUP → テスト条件の設定 → テスト規格 で規格を設定します。

※ Application Standards : 100BASE-TX/10BASE-TX を選択時はクロスケーブルの測定もできます。 クロスケーブル測定の詳細については、P.4-4 を参照してください。



#### ケーブル

より特定のテストパラメータを設定するために、ケーブルメーカーを選択します。ケーブルメーカーが 不明の場合は、Generic UTP、Generic Shielded を選択するかまたは、Customized Cable でケーブル 仕様を作成します。

SETUP → *テスト条件の設定* → *ケーブル* でケーブルメーカーを設定します。



カスタマイズケーブル

Customized Cable を選択した場合は、ケーブルの新規作成および作成したケーブルの削除ができます。 新規作成:*追加*アイコンをクリックします。以下のパラメータを入力します。入力完了後、**/**をク  $\triangleright$ 

- リックして登録します。
- 名前
- ペア数 •
- 建築の種類: UTP/STP/COAX
- 性能のグレード: Cat 3/5/5e/6/6A/7/7A/8, COAX, Unspecified
- NVP: 伝播速度

削除: 管理アイコンをクリック後、削除するケーブルを選択して*削除*アイコンをクリックします。  $\triangleright$ ※ 各アイコンについては、第6章を参照してください。



#### 削除

#### NVP (伝播速度)

ケーブルの伝播速度を設定します。NVP 値は、ケーブル長を正確に測定するために必要な値です。NVP 値は、使用するケーブルのデータシートなどに記載されています。

ケーブルの長さが分かっていて NVP 値がわからない場合は、**TOOL** → **NVP 値測定**でケーブル長を入力 するとあらかじめ定義されたケーブル仕様に基づき伝播速度を測定することができます。

また、カスタムケーブル登録画面で Go Learn NVP をクリックすると NVP 値測定機能が起動します。



#### コネクタ

SETUP → *テスト条件の設定* → *コネクタ*でコネクタメーカを設定します。コネクタメーカが不明の場 合は、Generic UTP、Generic Shielded を選択するかまたは、Customized Connector で新規にコネク タメーカを作成してください。



カスタマイズコネクタ

Customized Connector を選択した場合は、コネクタの新規作成および作成したケーブルの削除ができます。

- 新規作成: 追加アイコンをクリックします。以下のパラメータを入力します。入力完了後、 ✓をクリックして登録します。
  - 名前
  - 建築の種類:Shielded/Unshielded
  - 性能のグレード: Cat 3/5/5e/6/6A/7/7A/8, COAX, Unspecified

▶ 削除: **管理**アイコンをクリック後、削除するケーブルを選択して**削除**アイコンをクリックします。
※ 各アイコンについては、第 6 章を参照してください。



テスト・オプション

テスト·オプションでは、テストの開始方法やテスト結果の表示方法を設定できます。SETUP → テスト *条件の設定 → テスト・オプション*から設定できます。設定変更後は、✔をクリックして設定を保存し てください。

※ 実験室モードは、パスワードロックされている為、使用できません。

- (1) 一般的
  - ロケータ: ON 設定時は、オートテスト結果の NEXT とリターンロスに故障情報が表示されます。デフォルトは OFF に設定されています。
  - ケーブルペアタイプ種別: T568A または T568B のケーブルペアタイプを設定できます。デフ オルトは、T568B に設定されています。
  - 接続の自動試験: ON 設定時は、ローカルユニットとリモートユニットの接続が確立されたときに自動的にオートテストが開始されます。デフォルトは、OFF に設定されています。
  - 直接装着する: ON 設定時は、メタルケーブルの直接接続試験ができます。ローカルユニット にパーマネントリンクアダプタ、リモートユニットにチャネルアダプタを装着した構成の試験 を行うことができます。デフォルトは、OFF に設定されています。
  - AC ワイヤマップ: ON 設定時は、PoE (Power Over Ethernet)の測定ができます。ワイヤーエ キスパートは、IEEE802.3af と 802.3at の injector をサポートしています。デフォルトは OFF に設定されています。
  - クロスオーバー: ON 設定時は、クロスケーブル測定が可能です。但し、テスト規格で 「Application Standards」→「100BASE-TX/10BASE-TX」選択時にクロスオーバー設定が有 効になります。



#### プロジェクト設定

プロジェクト設定画面では、AUTOTEST 実行前に測定結果の保存方法等を設定できます。

サイト

測定結果をサイトごとに保存できます。新規に認証試験のサイトを追加する場合には、以下の手順に従 ってサイトを追加してください。

- 1. SETUP → *プロジェクト設定* → *サイト*をクリックします。
- 2. 新規サイト追加のため、*追加*アイコンをクリックします。
- 3. サイト名称を入力します。サイト名称の入力は、必須です。
- 4. 必要に応じて、住所と注意事項を入力します。(必須ではありません)
- 5. ✓をクリックしてサイトを登録します。
- ※ デフォルトでは、UNSPECIFIED のサイトが登録されています。サイトの追加を行わない場合は、 UNSPECIFIED にテスト結果が保存されます。

追加したサイトを削除する場合には、以下の手順に従ってサイトを削除してください。

- 1. サイト画面で 管理アイコンをクリックします。
- 2. 削除するサイト名称を選択して、*削除*アイコンをクリックします。
- ※ サイトを削除するとサイト内に保存したテスト結果も全て削除されます。また、デフォルトで登録 されている UNSPECIFIED サイトの削除はできません。但し、UNSPECIFIED サイトを削除すると UNSPECIFIED 内に保存したテスト結果が削除されてしまいます。



#### 作業者名

新規に作業者名を追加する場合には、以下の手順に従って作業者名を追加してください。

- SETUP → プロジェクト設定 → 作業者名をクリックします。
- 2. 新規で作業者名を追加するため、*追加*アイコンをクリックします。
- 3. 作業者名を入力します。作業者名の入力は、必須です。
- 4. ✔をクリックして作業者名を登録します。
- ※ デフォルトでは、UNSPECIFIED の作業者名が登録されています。作業者名の追加を行わない場合 は、UNSPECIFIED にテスト結果が保存されます。

追加した作業者名を削除する場合には、以下の手順に従って作業者名を削除してください。

- 1. 作業者名画面で*管理*アイコンをクリックします。
- 2. 削除する作業者名を選択して、*削除*アイコンをクリックします。



ラベル名の候補

ラベリングには、連番機能があります。テスト終了後、ラベリング機能を設定している場合は、連番で 自動的にラベル名称が作成されます。ラベリング機能の設定方法を以下に示します。また、「付録 B 自 動ラベル機能」には、より詳しい設定方法が記載されています。

SETUP → **プロジェクト設定** → **ラベル名の候補**をクリックしてラベルリングの候補を選択します。



▶ 無し

ラベル名を手動で入力します。オートテスト完了後、毎回、保存ファイル名所を入力します。

- 簡単なケーブル・ラベル名 接頭語(ラベル名)の後に数字をインクリメントする簡単なラベリング機能です。簡単なケーブル・ ラベル名の構成は、以下の通りです。
  - 1. ラベル名に接頭語を入力します。接頭語は、オートテスト終了後は、変更できません。
  - 2. インクリメントされる数字の開始値を入力します。オートテスト終了後に毎回1ずつ増加しま す。

2016-03-18		(100
簡易ケーブル・	ラヘ <sup>°</sup> ル名	
ラベル名		
A		
開始値を入;	t	
1		
		_

テンプレート ラベル

 TIA-606-A Class 1 (Single Room Horizontal Link)
 TIA-606-A Class1 標準ラベリングは、主に1つの建物内に1つの機器室しか存在しない場合に 使用します。

7>7 b-1 71 b	
TIA-606-A Class 1 Single Room Horizontal Link	
TIA-606-A Class 2 Single Building Horizontal	
TIA-606-A Class 2 Single Building Backbone	
TIA-606-A Class 3 Campus Backbone Cable	
開始 ラベル	
1A-A1	۵
終了 ラペル	

TIA-606-A Class 2 (Single Building Horizontal Link/Single Building Backbone Cable)
 TIA-606-A Class 2 標準ラベリングは、主に1つの建物内に複数の機器室が存在する場合に使用します。

TIA-606-A Class 1 Single Room Horizo	ntal Link
TIA-606-A Class 2 Single Building Hori	zontal Lin
TIA-606-A Class 2 Single Building Bac	kbone
TIA-606-A Class 3 Campus Backbone (	Cable
開始 ラベル	
1A-A1	⊠
<u>終了 741</u>	



TIA-606-A Class 3 (Campus Backbone Cable)
 TIA-606-A Class 3 標準ラベリングは、主に1つのサイトに複数の建物が存在する場合に使用します。

テンプレート ラヘンル	
TIA-606-A Class 1 Single Room Horizont	al Link
TIA-606-A Class 2 Single Building Horizo	ontal
TIA-606-A Class 2 Single Building Backb	one
TIA-606-A Class 3 Campus Backbone Ca	ble
開始 ラベル	
A-1A/A-1A-	
終了 ラベル	
A-1A/A-1A-	8

- Free Form
  - Free Form は、2 つ以上の接頭語を使用して簡単な数字のインクリメントとして使用します

TIA-606-A Class 2 Single Building B	ackbone
TIA-606-A Class 3 Campus Backbon	e Cable
Free Form	_
開始 ラベル	
A-1	8
終了 ラベル	
B-5	8

2-11

▶ リスト ベイスド テスティング

リスト ベイスド テスティング機能は、PC ソフトウェアの eXport でラベルリストを作成します。 作成したラベルリストをワイヤーエキスパートにロードして使用します。オートテスト開始時に作 成したラベルを選択してオートテストを開始します。「付録 C リストベイスド試験」には、より詳 しい設定方法が記載されています。

- 1. ワイヤーエキスパートの USB ポートにラベルリストを保存した USB メモリを挿入する。
- 2. ワイヤーエキスパートは USB メモリを自動的に検出します。
- 3. *ラベルリスト*をクリックします。
- 4. ロードするラベルリストを選択します。
- 5. *ラベルファイルをコピー*をクリックします。
- 6. 自動的にワイヤーエキスパート内部にコピーされます。 ✔をクリックします。



- SETUP → プロジェクト設定 → ラベル名の候補 → リスト ベイスド テスティングをクリ ックします。
- 8. リストからラベルソースを選択します。自動的にインポートされます。 ✔をクリックします。



9. オートテストを実行します。*AUTOTEST*を選択するとラベルー覧表が表示されます。ラベルを 選択するとオートテストが開始されます。

#### 自動保存

SETUP → プロジェクト設定 → 自動保存から自動保存の有効/無効を設定できます。

有効に設定した場合は、オートテストの実行結果が合格の場合のみ自動的に保存されます。ファイル名 が重複している場合には、メッセージが表示され自動的に保存されません。デフォルトは、無効設定で す。



システムの設定内容

#### 長さの単位

SETUP → *システムの設定内容* → *設定1* → *長さの単位* で長さの単位を設定できます。 フィートもしくはメートルを選択できます。デフォルトは、メートル設定です。



#### Y軸方向へ描画する

SETUP → システムの設定内容 → 設定1 → Y軸方向へ描画する で測定結果グラフ表示のY軸の表示 を設定できます。デフォルトは、正常設定です。

(j)		TOOLS				
AUTOTEST	2016-03-18		2016-03-18	100	< 正常設定 >	
	<u> </u>	- >	測定器の設定 長さの単位	M	Y軸方向へ描画する	
	<del>京入た条件の設定 規格:</del> TIA - Cat 6A Channel ゲーブ ル: Generic UTP NVP: 68 コネク: Generic Unshielded	- >	\$ Y軸方向へ描画する 時間の設定 スリーフ <sup>°</sup> 状態までの時間(分) オート・パ <sup>°</sup> ワーオフ(分) 音の設定 オーデ <sup>°</sup> ィオ設定	10 > 30 >	< 反転設定 > Y軸方向へ描画する	
	7°ロジェクト設定 現場: Unspecified ラベル名の候補: Simple Label	- >	設定1 設定	E:2		
	システムの設定	>				

測定器タイプ

SETUP → システムの設定内容 → 設定 1 → 測定器タイプ で測定器をローカル機(L)もしくはリモート機(R)に変更することができます。ローカル機→リモート機もしくはリモート機→ローカル機に変更す る場合は、再起動が必要です。本機器を複数所持している場合に有効な設定です。

AUTOTEST 2016-03-18 🗖 🔟	2017-06-09 🔁 💽	< ローカル設定 >
	<b>測定器の設定</b> 長さの単位 (地本句へ株両する)	測定器如7°
テスト条件の設定 規格: TIA - Cat 6A Channel ケーブル: Generic UTP WP: 68 コネクタ: Generic Unshielded	□     □	く リモート設定 > 測定器タイフ <sup>°</sup>
ア <sup>°</sup> ロジ <sup>*</sup> ェクト設定 現場: Unspecified パ*⊯名の候補: Simple Label システムの設定	音の設定 1+ディオ設定 設定1 設定2	

スリープ状態までの時間 / オート・パワーオフ

■ スリープ設定

SETUP → システムの設定内容 → 設定 1 → スリープ状態までの時間 でスリープ状態になるまでの 時間を設定できます。デフォルトは、10分です。

■ オート・パワーオフ設定

SETUP → システムの設定内容 → 設定1 → オート・パワーオフ で自動電源 OFF になるまでの時間 を設定できます。デフォルトは、30 分です。

※ スリープ設定とオート・パワーオフ設定は、同じ画面で設定できます。



#### オーディオ設定

SETUP → システムの設定内容 → 設定1 → オーディオ設定 で各音の設定ができます。以下のパラメ ータが設定可能です。

- ▶ タッチクリック:画面タッチ音の有効/無効を設定できます。デフォルトは、有効設定です。
- スピーカ&トーン:起動時の音、接続確認音などの有効/無効を設定できます。デフォルトは、有効 設定です。
- 音声プロンプト:音声の有効/無効を設定できます。デフォルトは、有効設定です。
- ▶ 音量コントロール:各音の音量を設定できます。デフォルトは、40%です。



#### 日付

**SETUP** → **システムの設定内容** → **設定2** → **日付** で日時の設定および表示形式を設定できます。表示 形式のデフォルトは、日付:dd/mm/yyyy、時刻:12:00 です。



#### 言語

**SETUP → システムの設定内容 → 設定 2 → 言語** で表示言語を設定できます。デフォルトは、英語 (English)です。



#### ストレージ情報

SETUP → システムの設定内容 → 設定 2 → ストレージ でワイヤーエキスパート内部のストレージ の空き容量を確認できます。また、USBメモリを挿入した場合は、USBの空き容量も確認できます。USB アイコンをクリックすると USB 内部のワイヤーエキスパートに関する情報が確認できます。

		DOLS		USB 内	部
2016-03-18	00	2016-03-18 🗖 🔟	2017-06-09 🔁 🖃	2015-10-20	· 🗖 💌
クイックセットアップ CAT 6A		時間と言語 日付 >	ストレージ* メイン ストレージ* 688 75 MB of 707 16 MB Availa	77-4917 777*9*6~1* 77~69 Itza* -	7.0 >
<sup>〒</sup> 入卜条件の設定 規格: TIA - Cat 6A Channel ケーブル: Generic UTP WP: 68 コネクタ: Generic Unshielded		A     Output CSC /       その他     ストレーラ*       パッデリ     >       工場出荷時の状態に戻します。     >       bust7hullionthttt     >	\$	<b>測定結果</b> インネ <sup>*</sup> ート 2-サ*読定規格 ブ* <b>1</b> 93ト	> > >
フ <sup>°</sup> ロジ <sup>*</sup> エクト設定 現場: Unspecified <sup>対、「</sup> 紀の候補: Simple Label	>	397A7-50AXE 測定器 設定1 設定2			
システムの設定					

#### バッテリの状態

SETUP → システムの設定内容 → 設定2 → バッテリ でバッテリの現在の状態を確認できます。リモ ートユニットと接続時は、リモートユニット側のバッテリ状態が確認できます。



#### 工場出荷時の状態に戻します。

**SETUP** → **システムの設定内容** → **設定 2** → **工場出荷時の状態に戻します** で**√**をクリックすると全ての設定値を工場出荷時の状態(デフォルト状態)に戻すことができます。

	DATA	TOOL	) IS						
2016-03-18		20	016-03-18		{100		2016-03-18	6	98%
クイックセットアッフ。		民	制と言語				工場出荷時	時の状態に	戻しま
CAT 6A	- /	E	日付		>				
<u></u>	$ \longrightarrow $	ŧ	言語	Japane	ese >			$\wedge$	
<del>テ入条件の設定 規格: TIA - Cat 6A Channel <sup>ケープ*ル:</sup> Generic UTP</del>	- >		そ <mark>の他</mark> (トレージ 「゙ッテリ		>	\$		!\	
NVP: 68 그차/୨୦: Generic Unshielded		, 	工場出荷時の状態に かチスクリーンの校正	三戻します。	>	,	^゚ージ下のチ し、測定器 た際の初期	ェックアイコンをり が工場出荷 設定に戻り	りりック iされ ます
フ <sup>°</sup> ロ <sup>·*</sup> ェクト設定 現場: Unspecified パ <sup>*</sup> ル名の候補: Simple Label	- >	3	則 <b>定器</b> 設定1	設定2	>		0		
システムの設定	>		< [						<b>~</b>

#### <mark>く 注意 ></mark>

**工場出荷時の状態に戻します**を実行すると設定値が全て初期状態に戻ります。設定値と保存したテスト結果は、消されて戻すことはできません。

#### タッチ・スクリーンの校正

SETUP → システムの設定内容 → 設定 2 → タッチ・スクリーンの校正 でタッチ・画面の補正を再設 定できます。タッチ・スクリーンの校正は、画面上で指定された部分をタッチすることで校正できます。



#### デバイス情報

SETUP → システムの設定内容 → 設定2 → 測定器 でソフトウェアバージョン、校正日、アダプタの 情報を確認できます。リモートユニットと接続した場合は、リモートユニットの情報も確認できます。 また、情報アイコンをクリックするとファームウェアの詳細を確認できます。



<mark>く 注意 ></mark>

正確なテスト結果を測定するために、毎年校正することをお勧めします。

DATA ボタン



DATA ボタン

DATA ボタンでは、登録したサイト毎に保存したテスト結果の確認することができます。保存したテスト 結果は、名称変更/削除をすることができます。



TOOL ボタン

TOOL ボタン

TOOL ボタンでは、トラブルシューティング用機能や上級者用の機能を使用することができます。

≥ 承基準値設定

基準値設定では、リファレン ス設定を実行することができ ます。 長さと遅延時間

**長さと遅延時間**では、方端オ ープン状態でペアごとの長さ と遅延時間、NVP(伝播速度) が測定できます。



**ワイヤマップ**では、リモート ユニットと接続した状態でケ ーブルのワイヤマップを試験 できます。

我々のご紹介

我々のご紹介では、Softing 社

の情報が確認できます。



NVP 値設定では、方端オープ ン状態でケーブル長を入力 後、一般的なケーブル仕様に 基づき NVP 値を測定できま す。 30 メーター以上のケーブルの

30 メーター以上のケークルの 場合は、正確な NVP 値を測定 できます。 モジュール リセット モジュールリセットでは、チ

モンユールリセットでは、テ ャネル、パーマネントリンク アダプタの使用回数をリセッ トすることができます。



**工場向けの校正**は、メーカで 使用する機能のため、パスワ ード保護がかかっています。

# 第3章 リファレンス設定

ローカルユニットとリモートユニットを初めてペアで使用する場合は、リファレンス設定が必要です。 ソフトウェアバージョン不一致やリファレンス未実施の場合は、メッセージが表示されオートテストを 実行することができません。リファレンス設定を実行してからオートテストを実行します。また、オー トテスト前に校正期限を確認してください。リファレンス設定手順を以下に示します。

- 1. ローカルユニットにパーマネントリンクアダプタをセットしてください。
- 2. リモートユニットにチャネルアダプタをセットしてください。
- 3. パーマネントリンクケーブルを使用してローカルユニットとリモートユニットを接続します。
- 4. TOOLS → 基準値設定 → 開始 をクリックします。リファレンス設定が開始されます。



- ※ リファレンス設定が不合格の場合は、以下の現象が考えられます。
  - アダプタが異なっている場合(例:ローカルおよびリモートユニット共にチャネルアダプタを使用)
  - ローカルとリモートユニットのファームウェアのバージョン不一致
  - ローカルとリモートユニットが正常に接続されていない場合

# 第4章 オートテスト構成

「システムの設定内容」でシステム関連の設定が完了後、AUTOTEST の為の以下の設定を行います。

- (1) SETUP → プロジェクト設定 で以下の項目を設定します。
  - A) サイト: テスト結果保存サイトを選択または新規作成
  - B) 作業者名:作業者名の選択または新規作成
  - C) ラベル名の候補: ラベル形式の選択
     ※ リストベイスドテスティングの場合は、USB からラベルをロードします
  - D) 自動保存: テスト合格時の自動保存設定の有効/無効
- (2) SETUP → クイックセットアップで「シールドあり/なし」および「テスト規格」を選択します。
- (3) SETUP → *テスト条件の設定* で以下の項目を手動で設定できます。
  - A) *テスト規格*:テスト規格を選択します。
    - B) ケーブル:ケーブルメーカーをリストからの選択または、カスタムケーブルの作成 (ケーブルメーカー不明の場合は、Generic を選択します。)
    - C) コネクタ:コネクタメーカをリストからの選択または、カスタムコネクタの作成 (コネクタメーカ不明の場合は、Generic を選択します。)
  - D) *テスト・オプション* → *一般的* で以下の項目を設定します。
    - i) **ロケータ**: ON 設定時は、オートテスト結果の NEXT とリターンロスに故障情報が表示 されます。デフォルトは OFF に設定されています。
    - ii) ケーブル ペアリング種別:T568A またはT568Bのケーブルペアタイプを設定できます。 デフォルトは、T568B に設定されています。



- iii) 接続の自動試験: ON 設定時は、ローカルユニットとリモートユニットの接続が確立されたときに自動的にオートテストが開始されます。デフォルトは、OFF に設定されています。
- iv) **直接装着する**: ON 設定時は、メタルケーブルの直接接続試験ができます。ローカルユニ ットにパーマネントリンクアダプタ、リモートユニットにチャネルアダプタを装着した 構成の試験を行うことができます。デフォルトは、OFF に設定されています。
- v) AC ワイヤマップ: ON 設定時は、PoE (Power Over Ethernet)の測定ができます。ワイヤ ーエキスパートは、IEEE802.3af と 802.3at の injector をサポートしています。デフォル トは OFF に設定されています。
- ※ テスト開始前に以下の物があるか確認してください。
  - ワイヤーエキスパート本体 ローカルユニット/リモートユニット(WX4500)

<u>パーマネントリンク試験</u>

- ▶ パーマネントリンクアダプタ (WX\_AD\_6APL2) × 2
- ▶ パーマネントリンクコード (WX\_AC\_6ALCORD2) × 2

#### <u>チャネル試験</u>

▶ チャネルアダプタ (WX\_AD\_6ACH2) × 2



#### < 注意 >

電話線のような電圧が掛かっているケーブルをワイヤーエキスパートに接続しないでください。故障の 原因となり、保証の対象外となる場合があります。

### パーマネントリンク試験

パーマネントリンク(PL)試験では、パッチパネルから機器室のコンセント部分までの試験を行います。

- (1) ローカルユニットとリモートユニットにパーマネントリンクアダプタを挿入します。
- (2) ワイヤーエキスパートの電源を ON にします。起動後、メタル試験モードであるか確認します。
- (3) 初めてペアで使用する場合はリファレンス設定を実行します。リファレンス設定手順は、第3章 を参照してください。
- (4) 必要な場合は、テスト規格とその他の構成を設定します。
- (5) 下図のようにローカルユニットとパネル、リモートユニットとコンセントをパーマネントリンクコ ードで接続します。
- (6) AUTOTEST をクリックしてオートテストを開始します。



#### チャネル試験

チャネル試験では、ルータなどのアクティブデバイスから機器室のコンセント部分に接続されたパッチ コードまでの試験を行います。パッチパネルとワイヤーエキスパートおよび機器室のコンセント部分か らワイヤーエキスパートを接続するパッチコードは、5mを推奨しています。

- (1) ローカルユニットとリモートユニットにチャネルアダプタを挿入します。
- (2) ワイヤーエキスパートの電源を ON にします。起動後、メタル試験モードであるか確認します。
- (3) 初めてペアで使用する場合はリファレンス設定を実行します。リファレンス設定手順は、第3章 を参照してください。
- (4) 必要な場合は、テスト規格とその他の構成を設定します。
- (5) 下図のようにローカルユニットとパネル、リモートユニットとコンセントをパッチコードで接続します。
- (6) AUTOTEST をクリックしてオートテストを開始します。



#### クロスケーブル測定方法

本機器では、クロスケーブルを測定することができます。以下の手順でクロスケーブルの測定を行います。但し、測定できるクロスケーブルは、Type A のみです。

<クロスケーブル:Type A>



(1) テスト規格 → Application Standards → 100BASE-TX もしくは 10BASE-T を選択します。



(2) テスト・オプション → クロスオーバーを有効に設定します。
 ※ 100BASE-TX もしくは 10BASE-T を未選択時は、有効に設定できません。

2017-06-09 🔁 🖬		2017-06-09 テスト規格	9			2017-06-09 <u>テストオフ<sup>°</sup> ション</u>	9		<ク	ロスオーバー	- : 有効>
CAT 6	<b>&gt;</b>	TI ケーフ* ル&コネクタ	IA - Cat 6 Chan	nel >		ロケータ ケーフ * ~ * アリンク * 種別 Te	568-		クロスオーハ	*-	0
〒スト条件の設定 +8+5		ケーフ * ル:	CAT 6	UTP >		接続の自動デスト	0				
規格: TIA - Cat 6 Channel ケーフドル・		<u> </u>	Generi	c UTP		直接装着	0	1	<ク	ロスオーバー	- : 無効>
Generic UTP NVP: 68.0		NVP:	6	8.0>	$\rightarrow$	AC 744-797*	0		クロフォート	- .*_	0
그추/숏: Generic Unshielded		ユキノツ・ メーカー:	Generic Unshi	elded	, i	<u>ም</u> ርያት- <i>N°</i> -	0	•	JHW 1		
プロジェクト設定 現場: Unspecified	>	詳細設定 テスト・オプション		>							
<sup>うへ*ル</sup> 名の候補: Simple Label		÷71	7 19 1	7 F		一般	吴禄国	-			
システムの設定		<				$\leftarrow$					

(3) AUTOTEST をクリックしてオートテストを開始します。結果が以下ように表示されます。





## 第 5 章 オートテストの実行

全ての設定が完了した場合は、AUTOTEST ボタンを押してください。新たな設定をしていない場合は、 最後に設定した情報または、初期設定値でオートテストが実行されます。

オートテスト完了後は、合格(緑)/不合格(赤)がサマリー画面に表示されます。サマリー画面から詳細アイ コンをクリックするとテスト結果の詳細を確認できます。また、保存アイコンをクリックするとテスト 結果が本体に保存されます。



テスト結果の詳細画面で各結果パラメータをクリックすると選択したパラメータのより詳細な情報を確 認できます。

また、グラフ画面で**最悪マージン** ボタンをクリックすると最も悪いマージン箇所を表示します。**最悪値** ボタンをクリックすると最も値の悪い箇所を表示します。最悪マージンボタンと最悪値ボタンは、ク リックすると交互に入れ替わります。

**管理** アイコンをクリックするグラフ表示方法を変更できます。



挿入ロス

リターン・ロス



ACRF Attenuation to Crosstalk Ratio, Far-end



ACRN Attenuation to Crosstalk Ratio, Near-and (ISO のみ)



Near-end Crosstalk



PSACRF Power-sum ACRF



PSACRN Power-sum ACRN (ISO のみ)



PSNEXT Power-sum NEXT



#### NEXT ロケータと RL ロケータ

ロケータオプション(**SETUP** → *テスト条件の設定* → *テスト・オプション*) が有効の場合、ワイヤーエキ スパートは、NEXT とリターンロスのために TDR(Time Domain Reflection)方式でトラブルシューティン グ用の情報をグラフで表示します。

NEXT は、近端の送信機から隣接対への信号の干渉を近端側で測定します。クロストーク(漏話)は、ツイ ストペアケーブル内のワイヤーが隣接した箇所で信号が干渉する現象です。

NEXT ロケータは、クロストークがケーブル内で過剰である位置をグラフで表します。高いクロストーク が見られる位置はローカルユニットからの距離が分かります。

リターンロスは、ケーブルのインピーダンスの変化により反射した信号の量を測定します。 被覆の剥離、 ツイスト不良、ケーブルの成端部分のより戻り、折り曲げによって影響を受けます。

RL ロケータは、反射減衰量が発生した箇所を表示します。最も高い反射減衰量が起こっている位置を正確に表示します。また、各ケーブルペアで表示しています。

NEXT ロケータと RL ロケータのお互いのピーク結果は、新しい接続部分、分岐点、置き換えが必要な悪いケーブルを表します。



#### テスト結果の管理

オートテスト完了後、*保存*アイコンをクリックして手動でテスト結果を保存できます。保存アイコンをクリック後、ラベル名を入力し 
をクリック後、ラベル名を入力し 
をクリックすると確認することができます。



- ※ 自動保存設定(SETUP → プロジェクト設定 → 自動保存)とラベル名の設定(SETUP → プロジェ クト設定 → ラベル名の候補)がされている場合は、オートテスト完了後、テスト結果が合格時のみ 自動的に結果が保存されます。(テスト結果が不合格の場合は、手動で保存できます。)
- 保存したテスト結果を確認する
  - 1. DATA ボタンを押します。
  - 2. Copper または Fiber を選択して、詳細 アイコンをクリックします。
  - 3. テスト結果を選択して、*詳細*アイコンをクリックします。
- 保存したテスト結果を削除する
  - 1. **DATA** ボタンを押します。
  - 2. Copper または Fiber を選択して、詳細 アイコンをクリックします。
  - 3. *管理* アイコンをクリックします
  - 4. 削除するテスト結果を選択して、*削除*アイコンをクリックします。
- 保存したテスト結果のファイル名を変更する
  - 1. DATA ボタンを押します。
  - Copper または Fiber を選択して、詳細 アイコンをクリックします。
  - 3. *管理* アイコンをクリックします。
  - 4. 名称変更したいテスト結果を選択して、ファイル名変更アイコンをクリックします。
- 保存したテスト結果を一括で削除する。
  - 1. DATA ボタンを押します。
  - 2. *削除*アイコンをクリックします。
  - 3. 「Delete All data?」画面で をクリックします。
  - 4. 全ての測定結果データが一括で削除できます。



DATA 管理

#### テスト結果のエクスポート (eXport)

eXport は、ワイヤーエキスパートで取得したテスト結果を管理するソフトウェアです。保存結果は、以 下の方法でエクスポートすることができます。

#### USB メモリヘエクスポート

- (1) ワイヤーエキスパートの USB ポートに USB メモリを挿入します。
- (2) USB メモリが自動的に検出されます。
   ※ 自動的に検出されない場合は、SETUP → システムの設定内容 → 設定 2 → ストレージ情
   報 → USB アイコン から手動で USB を認識します。
- (3) 測定結果をクリックします。USBメモリへ自動的にテスト結果のコピーが開始されます。
- (4) コピー完了後、 🖌 をクリックします。



- (5) eXport ソフトウェアを起動します。
- (6) ファイル → 新しいプロジェクト からプロジェクト名を入力して新規にプロジェクトを作成します。

				<u>- 0 ×</u>
ファイル インボート エクスボート 設定 ツール ヘルブ 言語				
新しいプロジェクト マケーブル・ラベル マ				
選択された試験結果:1				□ - 接続 😡
				-
🗶 eXport – Sample Project				
ファイル インボート エクスボート 設定 ツール ヘルブ 言語	_	_	_	
※新しいプロジェクトの作成			×	
	<b>▼</b> [	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	※)の検索 🙋	
整理 ▼ 新しいフォルダー			)III - 🕡	
名前 →	更新日時	種類	<del> </del> <del> </del>	
Silfindous "BT	2015/08/28 10:20	ファイル・フォルダー	_	
$\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$ \mathbb{P} $\mathbb{P}$	2015/10/21 9:55	ファイル フォルダー		
■ ビデオ ↓ 41ef5bc3fe872eb91656	2013/07/12 15:38	ファイル フォルダー		
	ECTON OTH TE TO-CC			
↓ ミュージック 🔒 borland	2013/07/12 15:38	ファイル フォルダー		
	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46	ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
● ミュージック ■ コンピューター ● ローガル ディスク (C) ● ローガル ディスク (C)	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46 2013/07/12 15:39	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
● ミュージック ● コージック ● ローカル ディスク (C) ● ローカル ディスク (C) ● ローカル ディスク (C) ● ローカル ディスク (C) ● DocuWorks	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46 2013/07/12 15:39 2013/07/12 15:39	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46 2013/07/12 15:39 2013/07/12 15:39 2015/09/04 9:45	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46 2013/07/12 15:39 2013/07/12 15:39 2015/09/04 9:45 2013/08/12 9:21	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
	2013/07/12 15:38 2015/04/01 15:46 2013/07/12 15:39 2013/07/12 15:39 2015/09/04 9:45 2013/06/14 9:09	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー		
	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2013/07/12 1539 2015/09/04 945 2013/08/12 9:21 2013/06/14 9:09	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	¥	
● ミュージック ● ローガル ディスク (G) ● ローガル ディスク (G) ● J (Wtokyonas001) (J) ● Apple iPod ● WindowsCE ● ホットワーク ファイルの経験[]: Sample Project! ファイルの経験[]: Test Project File (*prx)	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2013/07/12 1539 2015/08/04 945 2013/08/12 921 2013/06/14 9:09	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	¥	
● ミュージック ● コンピューター ● ローカル ディスク (C) ● J (Włotycnas001) (J) ● DocuWorks ● オットワーク ファイルを低い: Sample Project   ファイルの推測① Test Project File (* prx)	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2015/07/12 1539 2015/04/4845 2013/08/12 921 2013/06/14 9:09	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	ر بر بر	
	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2015/07/12 1539 2015/07/12 1539 2015/08/14 845 2013/06/14 809	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
● フォルダーの非表示	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2015/04/04 945 2013/08/12 921 2013/06/14 9:09	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	* * * * * *	
● ミュージック ● コーカル ディスク (C) ● コーカル ディング (C) ● コーカー (C) ● コー	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2015/09/04 945 2013/06/14 949	アイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	* * * * * * *	
● ミュージック ● コージル ディスク (C) ● コージー レージー マー ● DocuWorks ● drivers ● images ● オットワーク ファイルを(い): Sample Project ファイルの種類(I): Test Project File (* prx) ● フォルダーの非表示	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2013/07/12 1539 2015/09/04 945 2013/08/12 921 2013/06/14 909	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	× × × × ×	
◆ ミュージック ● コージル ディスク (C) ● コージー ジー ジー ロージー ● DocuWorks ● drivers ● Intel ファイルの復興(1): Test Project File (* px) ● フォルダーの非表示	2013/07/12 1538 2015/04/01 1546 2013/07/12 1539 2013/07/12 1539 2015/09/04 945 2013/06/14 909	ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー ファイル フォルダー	* * * * * * * *	

- (7) PC の USB ポートにテスト結果を保存した USB メモリを挿入します。インポート → USB ドライ ブ から USB メモリを選択して、インポートをクリックします。
- (8) インポートするテスト結果サイトを選択して*選択したファイルのインポート*をクリックします。全てのサイトのテスト結果をインポートする場合は、*全てインポート*をクリックします。
- (9) 作成したプロジェクトにインポートしたテスト結果が表示されます。



#### USB ケーブル経由で直接接続

- (1) ミニ USB ケーブルを使用して PC とワイヤーエキスパートを接続します。
- (2) eXport ソフトウェアを起動します。
- (3) ファイル → 新しいプロジェクト からプロジェクト名を入力して新規にプロジェクトを作成します。
- (4) インポート → デバイスを選択します。
- (5) インポートするテスト結果サイトを選択して*選択したファイルのインポート*をクリックします。全てのサイトのテスト結果をインポートする場合は、*全てインポート*をクリックします。
- (6) 作成したプロジェクトにインポートしたテスト結果が表示されます。

XeXport - Sample Project     ファイル インポート エカスポート	設定 ツー	u. <u>Au</u> 7	±₩								
The 19 FIGA	BALE 7					-1		_	_	_	
USBドライブ			•	-							
😥 OTDR											
Other Format											
	_										
	_										
	_										
	_										
	_										
						,					
	_										
	_										
<b>2</b> 1	ンボート								×		
心	/ボートしたいサ/ + / 1	イトを選択して	てください。								
	Unspecified										
	Sample										
試験結果の合計:10											🔲 🛛 接続 🔵
X	選択したファイル	ดสว	全てイ	ンポート			閉じ	3			
ź	選択したファイル	ดาว	全てイ	ンポート	]			5			
X	選択したファイル	ดาว	全てイ	ンポート				5			
	選択したファイル	ดาว	全てイ	ンポート		-	閉U	5			
	輩択したファイル	<u>ดาว</u>	全रर्ग	ンポート		-	閉U	5			
X eXport - Sample Project	<b>繋択したファイル</b>	ወብン	全て <b>1</b>	ンポート		-		3			_ D ×
	<b>蟹択したファイル</b> ※ 設定 ツー	<b>のイン</b> ・ルーヘルプ	全てイ 言語	ンポート				\$	1	_	_
	営択したファイル 営択したファイル ○ 設定 ツー ○ (ケージ	<b>のイン</b> ・ル ヘルプ ジル・ラベル	全てイ 言語 					2			
* eXport - Sample Project フィイル インポート エクスポート ・ アン ・ ロンスポート ・ ロンスポート Sample Project	営択したファイル ○ 設定 ツー ○ 万-ブ	<b>のイン</b> ・ル ヘルオ ジル・ラベル	全てイ 言語 」 テスト タイプ	ンポート デバイス ・タイプ	) - ブル ・ ラベル	→ 全体の 結果	開け (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	る 全長 (代)	NEXTマー ジン (dB)	RLマージ ン (dB)	
		<u>のイン</u> リル ヘルフ リル・ラベル	全てイ 言語 又 「 テスト タイプ <b>ツイストペア</b>	ンポート デバイス ・タイプ Wor4500	) ・ ・ ラベル A-1	▲ (本の) (新興)	開け リミットタイプ TA- Cat 6A Channel	る 全長 刑 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3	RLマージ ン (dB) 6.2	<u>・</u> ロメ あんしスタンプ 26/10/2015 01:
	ឪ択したファイル ・ 設定 ツー ↓ ケーフ	のイン ル ヘルイ リル・ラベル 1 2 2	全てイ 言語 ▼ 「 テスト タイプ <b>ツイストペア</b> ツイストペア	ンポート デバイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2	◆ (体の) 結果 ・ ・ ・	リミットタイプ リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel	る 全長 代) 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 2.9	RLマージ ン(dB) 6.2 11.2 7 c	<u> よロメ</u> タイムスタンプ 26/10/2015 01: 26/10/2015 01: 27/10/2015 01:
	ば択したファイル     「「「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、	のイン パレーヘルレプ パル・ラベルレ 1 2 3 4	全てイ 言語 マ 「 アスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デバイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A4	◆ (体の) 結果 ・ ・ ・ ・	リミットタイプ リミットタイプ TIA - Cat & A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat & A Channel	る 全長 他) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6	RLマージ ン(48) 6.2 11.2 ス5	<u> 上口 ×</u> タイムスタンプ 25/10/2015 01: 27/10/2015 05: 27/10/2015 05:
	選択したファイル - 設定 ツ− - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○	のイン ル へルブ リル・うべル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 マ マ スト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A-1 A-2 A-3 A-4 A-5	全体の 全体の ジャン・ジャン・ メ メ	リミットタイプ TA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	全長 代) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(8) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	タイムスタンプ 25/10/2015 01: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06:
XeXport - Sample Project 7r1/ 12/π−ト I27/π−ト Sample Project Sample	磁振したファイル - 読定 ツー - ○ 「ケー3	のイン ル ヘルプ リル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 アスト ダイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル - フイル - マイル - スイル - スイー - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス - ス	全体の 金編果 ダ ダ メ メ メ メ	リミットタイプ TA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	全長 代) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(8) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	54123827 26/10/2015 01: 26/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06:
XeXport - Sample Project 7-1/1 - 127.#~ト C Sample Project Sample Project Sample	営択したファイル 営択したファイル ○ アージ	のイン ・ル ヘルプ リル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 デスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ブルト デルト ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	7-7/4 -3/14	全体の 編集 ダ メ メ メ メ メ メ 、 メ	リミットタイプ TA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 代) <b>5.9</b> 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTY- 52 (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(88) 62 11.2 7.6 -3.5 -15.0	タイムスタンプ      タイムスタンプ      タイムスタンプ      タイン2015 01:      27/10/2015 06:      27/10/2015 06:      27/10/2015 06:      27/10/2015 06:      27/10/2015 06:      27/10/2015 06:
Constant Service      Constant Service      Constant Service      Constant Service      Constant Service      Sample      Sample      Sample	営択したファイル 営択したファイル ○ アージ	のイン パレ ヘルプ パル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 デスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	デルディス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	b         b           b         -7μ           c         -3κμ           A1         A2           A3         A4           A5	全体の 結果 ・ ・ ・ ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	및 동가 등 4 / 7 TA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 代) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(信) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	ケイレスタンプ      ケイレスタンプ      Zor10/2015 01:      Z7/10/2015 06:      Z7/10/2015 06:      Z7/10/2015 06:      Z7/10/2015 06:      Z7/10/2015 06:      Z7/10/2015 06:     Z7/10/2015 06
Cont - Sample Project  Cont - Sample Project  Cont - Lot -	選択したファイル 設定 ツー ♀ (アーラ	のイン パレ・ラベル パル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ▼ テスト ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	全(t=の 全結果 ✓ ✓ ✓ × × ×	및동카동イブ TA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 代) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(4B) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	▲ しスタンプ     スタイレスタンプ     スタイレスタンプ     スタイレスクロ5 01:     スケパレクロ15 06:     スアパレクロ15 06:     ス
Cont - Sample Project ファイル インボート エクスポート Cont - C	望沢したファイル ○ 説定 ツー ○ ケージ	のイン パル・ラベル パル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 マ テスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	全体の 金禄泉 ダ ダ メ メ メ	및 동가는 동시 가 기초가는 동시 가 TA - Cat 6A Channel TA - Cat 6A Channel TI A - Cat 6A Channel TI A - Cat 6A Channel	る 全員 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(88) 62 112 7.6 3.5 -15.0	メ     メ     メ     メ     メ     メ     シ     メ     シ     メ     シ     シ     ム     ス     シ
	業択したファイル 業択したファイル ● 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	のイン ハル ヘルプ リル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 メー デスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・シオブ Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500	ケーブル ・ラベル ネ1 ネ2 ネ3 ネ4 ネ5	全(fの) 結果 ジ ジ ジ メ メ	リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	全長 (作) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ > (68) 6.2 11.2 7.6 -3.5 -15.0	▲ □ × タイムスタンプ 26/10/2015 011 26/10/2015 051 27/10/2015 065 27/10/2015 065 27/10/2015 065
X eXport - Sample Project     ファイル インボート エジスボート     マーレ レンボート エジスボート     Sample Project     Sample Project     Sample Project     Sample	望択したファイル : 読定 ツ− : : : : : : : : : :	のイン ル ヘルフ りル・5ペル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ア テスト サイストペア サイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デリディス ・タイプ Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500	ケーブル ・ラベル ・ラベル ・スト ・ラベル ・スト	全体の 全体の 結果 ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ	リミットタイプ TIA - Cat & A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat & A Channel TIA - Cat & A Channel	<ul> <li>金具</li> <li>約</li> <li>5.9</li> <li>5.9</li> <li>5.9</li> <li>5.9</li> <li>5.9</li> </ul>	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RL7-57 > (dB) 62 11.2 7.6 -3.5 -15.0	メリン     メリン     メリン     メリン     メリン     メリン     シャン     ・
xexport - Sample Project 7r1/ 12/π−ト 12/π−ト Sample Project Sample	望沢したファイル 設定 ツ−	のイン ル ヘルフ ガル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ア テスト タイナ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デバス - タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル ・ラベル ネ1 A4 A4 A5	全体の 結果 ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ ジ メ	リミットタイプ TIA - Cat &A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat &A Channel TIA - Cat &A Channel	る 全長 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RL7-57 > (dB) 52 11.2 7.6 -3.5 -15.0	メリン     メリン     メリン     メリン     メリン     シャン     ・
X eXport - Sample Project         7r1/L       1274-h         Image: Sample Project         Sample Project         Sample Project	望沢したファイル ○ 読定 ソー ○ [ケー3	のイン ル ヘルプ ダル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 テスト タイプ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパト(ス ・34 7) Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A-1 A-2 A-3 A-4 A-5	<ul> <li>全体の</li> <li>結果</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>×</li> <li>×</li> </ul>	リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 59 59 59 59 59 59 59 59 59	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLV-ジ >(dB) 52 112 7.6 -3.5 -15.0	タイムスタンプ 25/10/2015 01: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: ンパロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロークロ
XeXport - Sample Project 7+/ル √2/π→ ID2/π→F Sample Project Sample	望沢したファイル ○ 設定 ツー ○ 19-3	のイン -ル ヘルプ ギル・ラベル 1 2 3 4 5 	全てイ 言語 テスト タイプ ツイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパドイス ・34 ブ Wx 4500 Wx 4500 Wx 4500 Wx 4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	全住の 全社事 ビー ビー エー メ	リミットタイプ TA-Cat 6A Channel ISO-Cate So Dommel TIA-Cat 6A Channel TIA-Cat 6A Channel	る (作) 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(8) 62 11.2 7.6 -3.5 -15.0	■ ■ × 5/12/201501: 25/10/201501: 27/10/201506: 27/10/201506: 27/10/201506: 27/10/201506:
X eXport - Sample Project 7-(1) - 127.#-ト Sample Project 9 - Sample Project Sample Sample	営択したファイル ○ 次一 アージ	のイン リル ヘルプ リル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ▼ Ţ入ト ダイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デバイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	全体の 全体現 ビー ビー メ	US91-9-17 TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 代 59 59 59 59 59 59 59	NEXTマー ジン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(信) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	
Xexport - Sample Project         7r(1)       1274-b         Image: Sample Project         Sample Project         Sample Sample	営択したファイル 営択したファイル ○ アージ	のイン リル ヘルプ リル・ラベリル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 マ テスト ダイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	全(t-の 全結果 ✓ ✓ ✓ × × ×	リミットタイプ TA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 約 59 59 59 59 59 59	NEXTマ- ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(dB) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	
Content Sample Project  Content Cont	望沢したファイル   ② アージー	のイン -ル ヘルン リル・ラベル - 1 - 2 - 3 - 4 - 5 	全てイ 言語 ア テスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル A1 A2 A3 A4 A5	<ul> <li>全(本の)</li> <li>金(本の)</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>×</li> <li>×</li> </ul>	및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및 및	る 全長 約 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ > (dB) 62 11.2 7.6 3.5 -15.0	▶
Content of the second	望択したファイル 説定 ソー マー アープ	のイン パル ヘルプ リル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ▼ 「 プストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス *タイプ Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500 Wo-4500	ケーブル - ラベル A-1 A-2 A-3 A-4 A-5	<ul> <li>金(すの)</li> <li>結果</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>×</li> <li>×</li> <li>×</li> </ul>	リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全員 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	× NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RL7-57 >(dB) 6.2 11.2 7.6 -3.5 -15.0	▶10,2015 01: 26/10/2015 01: 26/10/2015 05: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06:
Sample Project	望沢したファイル ○ 訳定 ツー ○ [ ケース	のイン ル ヘルフ フル・ラベル 1 2 3 4 5	全てイ 言語 「 デスト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デルディス ・ショイブ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル ・ラベル ・ラベル ・ネコ ・ スコ ・ スコ ・ スコ ・ スコ ・	<ul> <li>金(体の)</li> <li>結果</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>✓</li> <li>×</li> <li>×</li> <li>×</li> </ul>	リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	× NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RL7-57 >(dB) 6.2 11.2 7.6 -3.5 -15.0	タイムスタンプ 25/10/2015 011 26/10/2015 051 27/10/2015 065 27/10/2015 065 27/10/2015 065
XeXport - Sample Project         7r/ll       1274-b         Ymain - Lipzat-b         Sample Project         Sample Project	望沢したファイル ○ 読定 ソー ○ [ ケー3	のイン - ル ヘルレブ フル ヘルレブ フル・ラベルレ 1 2 3 4 5	全てイ 言語 又 テスト タイストペア ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デリディス - シイブ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル ・ラベル ・ラベル ・ネイ ・ネイ ・ネイ ・ネイ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	全住の 全結果 ジン ジン メン メン	リミットタイプ TIA - Cat 6A Channel ISO - Class D Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTマー ジン (dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(88) 52 112 7.6 -3.5 -15.0	タイムスタンプ 26/10/2015 01: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06: 27/10/2015 06:
XeXport - Sample Project 7-1/L 127.4 → I27.4 → Sample Project Sample	望沢したファイル ○ 以定 ソー ○ 19-3	のイン パレ ヘルプ ダル・ラベルレ 1 2 3 4 5	全てイ 言語 ア スト タイプ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパト(ス ・34 7) Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル - ブル A1 A2 A3 A4 A5	全住の 全結果 ビービー ビーズ メ	USOFS47 TA - Cat 6A Channel TA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel TIA - Cat 6A Channel	る 全長 代 59 5.9 5.9 5.9 5.9 5.9	NEXTY- ジン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(信) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	
文イル インボート エクスボート アイル インボート エクスボート Sample Project Sample Sample Sample Sample Sample	<ul> <li></li></ul>	のイン パル ヘルプ パル・ラベル 1 2 3 4 5 1	全てイ 言語 ▼ 〒 スト タイフ ツイストペア ツイストペア ツイストペア	ンポート デパイス ・タイプ Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500 Wx-4500	ケーブル - ブーブル A1 A2 A3 A4 A5	全体の 全体現 ビー ビー メ	US91-9-(7) TA-Cat 6A Channel TA-Cat 6A Channel TIA-Cat 6A Channel TIA-Cat 6A Channel	る 全長 代 59 59 59 59 59 59	NEXTマー シン(dB) 4.3 14.0 3.8 -3.6 -13.6	RLマージ ン(信) 62 112 7.6 -3.5 -15.0	■ タイムスタンプ 26/10/2015 0F: 27/10/2015 0F:

# 第6章 その他

# 各アイコン詳細

各画面に表示されるアイコンの機能について以下に示します。

+	■ 追加ボタン: サイト名、作業者名、カスタマイズケーブル、カスタマイズコネクタを新規に追加します。
0	■ 再テストボタン: リストベイスドテスティング機能を使用して試験する場合に再テストを実行できます。
<	■ 戻るボタン : 1 つ前の画面に戻ります。
0	■ キャンセルボタン: キャンセル(中止)します。
×—	■ 削除ボタン: 追加したサイト名や保存したテスト結果を削除します。管理ボタンに付随します。
O <sub>k</sub>	■ 詳細ボタン: 選択したテスト結果の詳細を表示します。
≎	■ 管理ボタン: ファイル名変更ボタン、削除ボタン、全選択ボタンを表示させます。
>	■ 次へボタン: 次の画面に移動します。
i	■ デバイス情報ボタン: ファームウェアのビルド情報を表示します。
~	■ OK ボタン : 設定値を有効にします。また、確認完了時にクリックします。

6-1

### 第6章 その他

a <b>→b</b>	■ ファイル名変更ボタン: 保存したテスト結果のファイル名を変更します。
ゥ	■ 更新ボタン: 画面を更新します。
	■ 保存ボタン: テスト結果を保存します。保存後、アイコンは表示されません。
Ý	■ USB ボタン : USB メモリが接続時、ファームウェアアップグレード、テスト結果のエクスポート、リストベイ スドテスティング機能を実行します。
%=	■ 全選択ボタン: 画面上の全てのデータを選択します。
THE B	■ ネクストペアボタン: ネクストペアのテスト結果の詳細を表示します。
M	■ ファイバマップボタン : ファイバマップを表示します。
Ħ	■ MPO チャート、グリッドボタン: MPO のロス結果をチャート形式(グラフ)または、グリッド形式で表示します。
٢	■ 端面検査テスト開始、ライブボタン: 検査プローブを接続して SM/MM ファイバの端面検査を開始します。
Ф	■ リファレンス設定ボタン: ローカルユニットとリモートユニット間のリファレンス設定を開始します。
1	■ 光送信 ON/OFF ボタン : リモートユニットの光源の ON/OFF を設定します。



HARADA

元】原田/生耒休工、云社 「報通信ナーム 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-2-1 東京海上日動ビル新館 Tel:03-3213-8391/Fax:03-3213-8399 http://infocom.haradacorp.co.jp